



文書館資料

武芸・体育・スポーツと



➤ 16

「山口国体マスゲーム」（グラフ山口－山口国体259）

たたかう ⑦

昭和38年山口国体と東京オリンピック

《「オリンピックにつながる国体」として》

東京オリンピックの前年、昭和38年（1963）に「オリンピックにつながる国体」として山口国体が開催されました。山口県としては2年つづけて大きなスポーツイベントを経験することになりました。

夏季大会は宇部市を主会場として、9月15日から18日にかけての4日間、秋季大会は山口市を主会場として、10月27日から11月1日にかけての6日間、32種目の競技が行われました。

《空前の新記録ラッシュ》

東京オリンピックの前年ということもあり、各競技とも熱戦が繰り広げられた結果、空前の新記録ラッシュの大会となりました。世界新記録3、世界タイ記録1、日本新記録33、日本タイ記録14、大会新記録に至っては204でした。

裏の一覧表は、東京オリンピックのメダリストの山口国体における成績を「第18回国民体育大会報告書」（1960年代各種団体154）から書き出して作成したもの

です。これを見るとメダリストの多くが山口国体でも活躍していたことがわかります。

また、山口県勢の活躍も目覚ましく、天皇杯（男女総合成績）、皇后杯（女子総合成績）ともに東京都に次ぐ2位となり、とりわけ男女総合では首位との得点差が0.4ポイントという僅差でした。

炬火（きょか、オリンピックにおける聖火にあたる）の採火式から閉会式までの山口国体の様子については、広報課撮影の写真が数多く残されており、これらの写真は当館ウェブサイトで見ることができます。

《会場・環境の整備》

国体の開催は各競技施設の建設のほか、県民生活に関わりの深い道路の整備など、環境面での充実の大きな契機となりました。主会場となった県陸上競技場や、国体に合わせて新しく建設された体育施設は、その後も地域のスポーツ・文化の核となりました。また県民の歌や県のシンボルマークも国体を機に制定されました。



「第16回国体に備えて」
（鍛冶利吉文書124）

山口県にとって国体の開催は長年の悲願でした。早くも昭和26年、第6回広島大会の際に国体誘致の動きがみられます。その後、昭和29年には「第16回国民体育大会山口県誘致委員会」が結成され、昭和36年開催の第16回大会に向けた誘致活動が本格化しました。第16回大会の誘致は実現しませんでしたでしたが、その熱意は、昭和36年12月2日、第18回国体の開催地内定として実を結びました。

	名 前	東京オリンピック成績		山口国体成績
1	桜井孝雄	金	ボクシングバンタム級	
2	三宅義信	金	ウエイトリフティングフェザー級	一般男子フェザー級1位(世界新)
3	市口政光	金	レスリンググレコローマンバンタム級	
4	花原勉	金	レスリンググレコローマンフライ級	一般男子グレコローマン1位
5	上武洋次郎	金	レスリングフリースタイルバンタム級	
6	渡辺長武	金	レスリングフリースタイルフェザー級	一般男子フリースタイルフェザー級1位
7	吉田義勝	金	レスリングフリースタイルフライ級	一般男子フリースタイルフライ級1位
8	中谷雄英	金	柔道軽量級	
9	猪熊功	金	柔道重量級	
10	岡野功	金	柔道中量級	
11	早田卓次	金	体操男子つり輪	
12	山下治広	金	体操男子跳馬	
13	遠藤幸雄	金	体操男子平行棒、体操男子個人総合	
14	遠藤幸雄・小野喬・鶴見修治・早田卓次・三栗崇・山下治広	金	体操男子団体総合	東京都選手団として出場(鶴見)
15	磯辺サダ・河西昌枝・近藤雅子・佐々木節子・篠崎洋子・渋谷綾乃・谷田絹子・半田百合子・藤本佑子・松村勝美・松村好子・宮本恵美子	金	バレーボール女子	一般女子優勝・近藤(倉紡倉吉:岡山県) 渋谷(ヤシカ:東京都)
16	神永昭夫	銀	柔道無差別級	
17	鶴見修治	銀	体操男子あん馬、体操男子個人総合、体操男子平行棒	東京都選手団として出場(鶴見)
18	遠藤幸雄	銀	体操男子床運動	
19	円谷幸吉	銅	陸上男子マラソン	青年の部5000m1位(日本新)
20	一ノ関史郎	銅	ウエイトリフティングバンタム級	一般男子バンタム級1位(ジュニア世界新)
21	大内仁	銅	ウエイトリフティングミドル級	一般男子ミドル級1位(日本新)
22	堀内岩雄	銅	レスリングフリースタイルライト級	
23	吉川貴久	銅	ライフル射撃男子フリーピストル	
24	岩崎邦宏・岡部幸明・庄司敏夫・福井誠	銅	競泳男子800m自由形リレー	一般男子100m自由形1位(福井) 400m自由形1位(庄司)
25	相原俊子・池田敬子・小野清子・千葉吟子・辻宏子・中村多仁子	銅	体操女子団体	3位群馬(相原)
26	池田尚弘・小瀬戸俊昭・小山勉・佐藤安孝・菅原貞敬・出町豊・猫田勝敏・南将之・森山輝久・中村祐造・樋口時彦	銅	バレーボール男子	一般男子優勝(日本鋼管:佐藤)